

# 健康のしおり

皆さんの健康のお役に立つように、このようなパンフレットをつくりました。  
是非ご覧下さい。

## ウイルス性結膜炎

ウイルス性結膜炎は、学校では出席停止となるほど非常に感染力の強いものです。

### 【ウイルス性結膜炎三種】

1) 流行性角結膜炎、2) 咽頭結膜熱、3) 急性出血性結膜炎の3種類がありますが、①は、アデノウイルス8、4、37、19型によるもの、②は、アデノウイルス4、3型によるもの、③はエンテロウイルス70型によるものです。

流行性角結膜炎は、充血、眼脂、流涙などがあらわれ、耳前リンパ節の腫脹や圧痛を伴います。角膜炎（黒目の傷）を起こすこともあります。潜伏期は、7～14日です。

咽頭結膜熱は、プール熱とも呼ばれ、結膜炎に咽頭炎と発熱を伴います。耳前リンパ節の腫脹や圧痛を伴います。潜伏期は5～7日です。

上記2種のアデノウイルス性結膜炎は、10日から2週間、治癒までにかかります。急性出血性結膜炎は、エンテロウイルスによるもので、潜伏期が1～2日で、結膜下出血（白目の出血）をとともなう結膜炎をおこしてきます。1週間以内に治癒します。

### 【感染対策】

これらウイルス性結膜炎は非常に感染力が強く、はやり目とも呼ばれます。感染対策に、①隔離（触ったり、座ったりするものを共有しない）、②手洗い励行、③ペーパータオルの使用、④入浴は最後に、⑤アルコール消毒、などがあります

### 【診断】

診断は、耳前リンパ節の腫脹・圧痛などのウイルス性に特徴的な臨床症状に加え、アデノウイルスのチェックキットを使いますが、特異度は10割なので、陽性に出れば確定診断が付きませんが、感度は6～7割なので、結果が陰性と出た場合にも、アデノウイルス性結膜炎の可能性は依然残ります。

### 【治療】

もう一つの特徴は、アデノウイルス、エンテロウイルスともに特效薬（抗ウイルス薬）がないということです。そのため、治療は、抗生物質、及びステロイド系の抗炎症剤の点眼などを補助的に使いますが、自分の免疫力にて時間をかけて治していかなければならないということです。

栄養、睡眠、規則正しい生活に留意して、過労やストレスは避ける必要があります。

流行性角結膜炎の場合には、角膜炎が出ることがあり、その場合には、結膜炎治癒後も、角膜混濁の治療のためにしばらく弱いステロイドの点眼が必要になることもあります。

### 【再感染の可能性】

全く同じ型のウイルスには、免疫ができて二度とかかりませんが、違う型のウイルスには再感染する可能性があります。感染防止や、速やかな治癒のためにも、普段から免疫力を落とさないような注意が大切です。